



平成 30 年 6 月 8 日

株式会社 **メディアシーク**

代表取締役社長 西尾 直紀
 (コード番号:4824 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役業務管理部長
 根津 康洋
 (TEL 03-5423-6600)

各 位

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 9 月 8 日に公表いたしました平成 30 年 7 月期（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 7 月期 通期連結業績予想数値の修正
 (平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,739	2	30	16	1.64
今回修正予想(B)	1,501	△189	△140	△99	△10.16
増 減 額(B-A)	△238	△191	△170	△115	
増 減 率(%)	△13.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 7 月期)	1,527	△14	100	59	6.14

2. 修正の理由

【売上高】

平成 29 年 9 月 8 日に公表いたしました平成 30 年 7 月期の通期業績予想において、売上高については、法人事業において 1,359 百万円、コンシューマー事業において 367 百万円、研究開発部門において 12 百万円、あわせて 1,739 百万円を想定しておりました。

(法人事業)

法人事業においては、グループ子会社の新規ソリューションサービスによる売上について、顧客事情によるプロジェクトの見直しにより平成 30 年 7 月期の売上計上が困難な見通しとなり当初見込みをおよそ 67 百万円程度下回る見通しとなりました。また、グループ子会社の RPA ツールを活用したソリューションサービスによる売上について顧客需要の高まり等を考慮した売上の拡大を想定しておりましたが、今後も RPA ツールの売上は拡大傾向であるものの平成 30 年 4 月末時点において売上高が当初見通しに達しなかったことから、当初見込みをおよそ 81 百万円程度下回る見通しとなりました。既存クライアント向けシステム開発プロジェクトでは、その一部について顧客事情による開発

時期の見直しが発生したため、当初見込みをおよそ 35 百万円程度下回る見通しとなりました。そのため法人事業において、当初見込み 1,359 百万円を 183 百万円下回る 1,176 百万円の売上の見通しとなりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、新規情報サービス等について利用者の拡大が当初予想に達しなかったことから、当初見込みをおよそ 43 百万円程度下回る見通しとなりました。そのため、コンシューマー事業において、当初見込み 367 百万円を 43 百万円下回る 324 百万円の売上の見通しとなりました。

(研究開発部門)

研究開発部門においては、情報技術を活用した新規サービスにより通期で 12 百万円の売上を見込んでおりましたが、新規サービス立ち上げの遅れから、当初見込みをおよそ 12 百万円程度下回る見通しとなりました。そのため研究開発部門において、当初見込み 12 百万円を 12 百万円下回る 1 百万円未満の売上計上の見通しとなりました。

【営業利益】

平成 29 年 9 月 8 日に公表いたしました平成 30 年 7 月期の通期業績予想において、営業利益については 2 百万円を想定しておりましたが、上記要因により売上高が当初見通しより大幅に減少する見通しとなったことにより、営業損失が発生する見通しとなりました。

【経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益】

平成 29 年 9 月 8 日に公表いたしました平成 30 年 7 月期の通期業績予想において、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、それぞれ 30 百万円及び 16 百万円を想定しておりましたが、平成 30 年 4 月 20 日に公表しました投資有価証券の売却により 16 百万円の投資有価証券売却益が発生したものの、上記要因により売上高が当初見通しより大幅に減少する見通しとなったことにより、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失が発生する見通しとなりました。

その結果、平成 29 年 9 月 8 日に公表いたしました通期業績予想の売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益について、予想を下回る見通しとなったことから上記の修正を行うものです。

(注)本業績予想は、本資料発表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づき作成しております。本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

以上